



2019年5月8日

各 位

会 社 名 J. フロント リテイリング株式会社
代 表 者 代表執行役社長 山本良一
(コード 3086 東証、名証第一部)
問合せ先責任者 財務戦略統括部
I R 推 進 部 長 稲 上 創
(T E L 03 - 6895 - 0178)

株式会社大丸松坂屋百貨店による株式会社下関大丸の吸収合併について

J. フロントリテイリング株式会社と連結子会社である株式会社大丸松坂屋百貨店(以下、大丸松坂屋百貨店)および株式会社下関大丸(以下、下関大丸)は、当社グループの地方百貨店構造改革の一環として、下関大丸を大丸松坂屋百貨店に吸収合併することを決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 地方百貨店構造改革に向けて

当社グループの地方百貨店は、人口減少や高齢化などが進行するなかで、大都市圏の百貨店や近郊のショッピングセンターとの競合に加え、「モノからコトへ」、「リアルからネットへ」といった消費者の嗜好や購買行動の変化など、目まぐるしく変化する現実に直面しています。このような中、今後も地域に貢献し成長を継続するには、各エリアのニーズを踏まえた抜本的な改革が必要だと考えております。

そこで、昨年3月、大丸松坂屋百貨店に地方郊外店改革推進部を設置し、地方郊外店の改革に向け、地方百貨店単独では解決困難な課題も含めて、グループ百貨店事業をあげて取組みを進めてまいりました。

2. 下関大丸の直営化の狙い

上記を踏まえ、下関大丸の今後の継続的な成長を目指し、今般、下関大丸を大丸松坂屋百貨店に吸収合併し、直営化をはかります。

直営化を実現することにより、お取引先様との交渉力の強化やスケールメリットを生かしたバイイング力の向上を見込むほか、後方部門の機能を本社組織に集約することでより効率的な店舗運営をおこない、人財の活性化においても、下関大丸単体では困難であった全社的な視点での配置が可能となります。

3. 今後のスケジュール

2020年3月 吸収合併の実施

4. 業績に与える影響について

本件による当期の連結業績に与える影響は軽微となる見通しですが、今後開示すべき事項が発生した場合には速やかにお知らせいたします。

以 上

(ご参考) 株式会社大丸松坂屋百貨店及び株式会社下関大丸の概要

(1)商号	株式会社大丸松坂屋百貨店 (吸収合併存続会社)	株式会社下関大丸 (吸収合併消滅会社)
(2)所在地	東京都江東区木場二丁目18番11号	下関市竹崎町四丁目4番10号
(3)代表者	代表取締役社長 好本 達也	代表取締役社長 楠 有弘
(4)事業内容	百貨店業	百貨店業
(5)資本金	10,000 百万円	480 百万円
(6)設立年月日	2010年3月1日*商号変更	1950年9月15日
(7)売上高	680,428 百万円(2019年2月期)	13,352 百万円(2019年2月期)
(8)営業利益	26,480 百万円(2019年2月期)	78 百万円(2019年2月期)
(9)従業員	2,285 名(2019年2月末)	225 名(2019年2月末)
(10)大株主及び持ち株比率	J. フロントリテイリング株式会社 100%	株式会社大丸松坂屋百貨店 100%